## 事業系一般廃棄物(ごみ)に関するアンケート 回答用紙

本アンケートでは	は、貴事業所において	事業系一般廃棄物とし	<u> ノて捨てているごみ</u> に			
ついてご回答くだる	<b>さい。</b> (別紙「新発田広り	ー 域圏のごみ処理のことにつ	いて」に、事業系一般廃			
棄物について解説して	(います。)					
【例】 ・従業員の額	【例】 ・従業員の飲食や事務作業等で出たごみ(飲食物、文具、紙、日用品等)					
・利用者へ	• 利用者ヘサービスを提供する際に出たごみ(包装容器、缶、ビン、生ごみ等)					
• 建物 • 敷‡	他の清掃等により出たご	み(粗大ごみ、枝木等)	• • • 等			
*各設問の 🗆 に 🗸	′を付けて回答してく;	ださい。				
問1 貴事業所の業	種を選んでください。					
□農林漁業	□ 鉱業	□ 建設業	□ 製造業			
■ 電気・ガス・熱供給・水道業	□ 情報通信業	□ 運輸・交通業	□ 卸売・小売業			
□ 医療・福祉業	□ 金融・保険業	□ 不動産業	□ 飲食店			
□ 宿泊業	□ サービス業	□ 上記以外(	)			
問2 貴事業所の所在地を選んでください。						
□ 新発田市内		□ 胎内市内				
問3 事業活動に伴	って排出されるごみは	は、事業系一般廃棄物と	に産業廃棄物に分けられ			
排出事業者が自	ら適正に処理する責何	王があります。このこ <sub>。</sub>	とをご存じでしょうか。			
□ 知っている		□ 知らない				
問4 貴事業所では	ごみ排出量を把握して	ていますか。また、把握	屋している方は、どの単			
位で把握していますか。						
□ 把握している	〔 □年単位 □	]月単位 □その他(	) )			
□ 把握していない						
問5 貴事業所では	ごみの減量、分別、!	Jサイクル等に取り組 <i>/</i>	んでいますか。			
□ 積極的に取り組ん	でいる	□ まあまあ取り組ん <sup>-</sup>	でいる			
□ あまり取り組んでいない		□ どちらともいえない				

問6	問5で「あまり取り組んでいない」「どちらともいえない」と回答された方へ質問			
	です。その理由としてあてはまるものをすべて選んでください。			
	ごみの量が少ない、捨てる際にごみが混ざる等、分別が難しい			
	〕手間がかかるため			
	] 費用がかかるため			
	] 分別した後の資源ごみの依頼先や処分先が分からない			
	ごみの減量、リサイクルについて意識していなかった			
	その他(			
問7				
	ますか。あてはまるものを <u>すべて選んで</u> ください。			
	保管場所が狭い、分別して置く余裕が無い等、場所の制約がある			
	手間がかかる			
	費用がかかる			
	リサイクル業者が分からない			
	取り組むメリットが無いように感じる			
	特にない			
	その他(			
問8				
	等はありますか。あてはまるものを <u>すべて選んで</u> ください。 			
	事業系ごみの減量・資源化に関する情報やマニュアルの提供			
	収集運搬業者、リサイクル業者に関する情報提供			
	事業者が自社で資源ごみを持ち込みできる回収拠点の整備			
	地域の事業者同士が共同で資源回収を行う連携組織の育成			
	ごみ問題や地球環境問題に関する講演会の実施			
	リサイクルに積極的に取り組む事業者の紹介や表彰制度			
	事業者に対する減量指導の実施			
	その他(			

## 問9 貴事業所でのごみの処分方法について、以下の表により回答してください。また、 排出量が特に多いごみを1つ記入してください。

- ① 収集業者に委託・・ごみとして一般廃棄物収集運搬許可業者へ委託し処分している場合。
- ② 直接搬入・・・・ごみとして自らごみ処理場等に搬入して処分している場合。
- ③ 資源化・・・・資源物として委託 or 工場等への搬入により処分している場合。
- ④ 産廃処理・・・・産業廃棄物として処理している場合。

	処 理 方 法			
名称 	① 収集業者に委託	② 直接搬入	③ 資源化	④ 産廃処理
記入例	$\square$			
	どれか 1	つを選び、記入してく 	ください。 	,
新聞				
段ボール				
チラシ・雑誌				
資源化できる紙類 (事務書類、食品の箱、封筒等)				
資源化できない紙類 (カーボン紙、レシート、写真等)				
生ごみ				
布類				
プラスチック類 (文房具、プラ製容器等)				
缶類				
ビン類				
ゴム・皮類				
紙パック				
ペットボトル				
発泡スチロール				
陶器・ガラス類				
金属類				
鋼製家具類				
木製家具類				
小型家電 (家電リサイクル法4品目を除く)				
枝木、雑草類				
廃乾電池、蛍光管等				
排出量が特に多いごみ	(記入欄)			

事業者による自主回収の拡大等を図り、プラスチックごみの減量・資源化の一層					
の推進を検討していると新聞報	道されました。このことをご存じでしょうか。				
□ 知っている	□ 知らない				
問 11 意見、質問等がありましたら、	、ご自由に記入してください。				

問 10 近年、「プラスチックごみ」による海洋・環境汚染が問題視されています。この

ことから、環境省では、家庭ごみの分別区分で「プラスチック資源」の新設や、

\*\*アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。\*\*